

各会議等の実施状況報告について	提出日	令和7年9月30日
	担当課	スポーツ・生涯学習課
会議名称	第2回 湖西市生涯学習推進協議会	
開催日時	令和7年9月30日（火）13：30～14：20	
開催場所	市民活動センター2階 大会議室	
出席者	委員：4名 事務局：3名	【計7名】
1. 開会		
2. 協議事項		
（1）第3次湖西市生涯学習推進計画について（事務局説明）		
委員：特に意見無く了承。		
（2）生涯学習推進に向けた提言事項について（事務局説明）		
委員：特に意見無く了承。		
（3）各組織・団体における生涯学習の取組事例について		
委員：文化協会においても高齢化の波が押し寄せている。全体の会員数は増えているが、部会によっては高齢化により人数が減っている。		
大正琴と天平琴を主に90代から60代の方々に教えている。最近うれしかったことがあった。それは、コロナ前に幼稚園や保育園で月3回ほど大正琴に触れてもらう活動をしていたが、コロナ禍でその活動が休止になり、現在は再開しているが、休止時に保育園だった子が、再開時に体験した弟の話を聞いて、私もやってみたいということで、小学5年生の子が習い始めた。また、その活動の関連で、持っている大正琴をまたやってみたいという方が会に参加してくれた。伝統の継承と新しい仲間による刺激もあったことで、それはうれしい出来事だった。		
他の部会などの状況は、やはり高齢化により人数が減ってきてている。これはコロナの影響が大きい。コロナで家から出ないことに慣れてしまって、特に高齢になると一步踏み出せないことがあるのではないかと思う。		
最近、自分本位の意見主張をされる方が多いなと感じている。大人のふりを見て子は成長するということもありますので、思いやりや愛情のある人間形成が、生涯学習を通じてできるといいなと感じている。		
民間にはできない、市だからこそ少人数でも細かく開催してくれる生涯学習講座があることはたいへんありがたい。		
委員：わくわく子ども教室や親子ふれあい講座などで忙しく活動している。サークルは土曜日に行っているのでお勤めの人も来られると思う。活動場所は火力や電気などの設備の関係で西部地域センターより南部構造センターのほうが使いやすい。		
委員：ピラティスの活動をしている。今期も夜の講座を開講予定である。若い人でも仕事終わりに来てくれる方も多くいる。夜間の講座を充実させるのもいいかと思う。		
西部、南部、北部だけでなく新居地区でも、生涯学習講座があるといいと思う。		

健康のためにピラティスに来ている人で、痩せたいという方が多い。痩せたい人をターゲットに栄養、食事、運動、なども組み合わせた講座を展開するのも面白いのではないか。

委 員：老人会は 8 地区で 1,200 人の元気な老人が、毎日いろんな活動をしている。スポーツ愛好部でスポーツ、女性はレクダンスなど楽しんでいる。また、年に 3 回程度のバス旅行も楽しく実施している。

寿大学では、税金の仕組みや市長との対話などの出前講座で、勉強の場として活動している。年に 2 回市のバスを利用して視察研修も実施しているが、来年度は市のバスがなくなり視察研修ができなくなるので、寿大学の活動は続けたいが、受講者が少なくならないか心配している。

（4）意見交換

事務局：コロナのときとコロナが明けての現在の状況はどうか。

委 員：コロナのときもやりたいという声もあって対応しながら活動は継続してきた。私の活動においては人数的にはコロナの影響はない。高齢化に伴う人数減である。

委 員：コロナの時から講座を始めたので、明けてからは人数が増えてきた。コロナ前のように感染を気にしないというわけではなく、マスクを着けて活動される方もおられるようになった。

委 員：コロナが明けてからは、元に戻った感じがする。活動の参加者も問題なく集まっている。

委 員：南部構造改善センターのセンターまつりはやっているのか。作品展示の際は、余裕をもって依頼していただけると助かる。

事務局：南部構造改善センターについては、白須賀フェスタで自治会が手いっぱいのため作品展示のみになっている。作品展示については今年度から時期を決めずに展示を受け付けて対応している。

委 員：インバウンドへの対応として、外国人に対して湖西市の名所、文化、イベント、芸術について交流ができるボランティアの育成なども、生涯学習のひとつのメニューとして展開するのもいいのではないか。

3. 閉会

以上